

こころ えがお せかい
心つながり 笑顔ひろがり 世界へはばたく



がっこう 学校だより

よこはましりついいだきた しょうがっこう
横浜市立飯田北いちよう小学校
へいせい ねん がっこう
平成30年 12月号
がつ にちほっこう
11月30日発行

へいせい ねん お
平成30年の終わりにあたり

しょうすうは せいかう こころ のこ ことば
～少数派が成果生む：心に残った言葉～

がっこうちよう みやざわ ちずみ
学校長 宮澤 千澄

はや ことし のこ あと つき ちいき ほごしや かた せわ
早いもので、今年も残すところ後ひと月となりました。地域や保護者の方にお世話になった5、6
ねんせい かていか がくしゅう お りっぱ じぶん さくひん つく あ にち
年生の家庭科ミシン学習も終わり、それぞれが立派に自分の作品を作りました。また、21日には、
おお かみいだれんごうちようないかい かたがた そうちよう しばざくら ほしよく い ねんせい いっしょ はる
多くの上飯田連合町内会の方々に早朝より芝桜の補植にお出でいただき、6年生も一緒に春に
はなさ ふうけい おも う かぶちか う がつ たの
花咲く風景を思い浮かべながら1000株近くを植えました。4月が楽しみです。

さて、2か月ほど前のことですが、本庶 佐 京都大学特別教授が、ノーベル賞を受賞されました。
その折、本庶先生が語った言葉の中に大変印象に残っていることがあります。それは、「科学は多数決
ではない。既存の概念を壊す少数派の中からこそ新しい成果が生まれる」という信念があったとい
うことと、「簡単に物事を信じないことだ。論文や書いていることを信じず、自分の頭で考え、納得
できるまで考えることが僕のやり方。」と話したこと。さらに、研究者を志す子どもたちへのア
ドバイスとして「一番重要なのは『何かを知りたい』『不思議だな』という心を大切にすること。
それから教科書に書いてあることを信じないことです。」と語ったことです。「知りたいという好奇心」
と「簡単に信じないこと」がモットーという先生は、優れた研究者には六つのCが必要と説いてお
り、それは challenge(挑戦) confidence(自信) courage(勇気) concentration(集中)
curiosity(好奇心) continuation(継続性)とのこと。これは、優れた科学者になろうとしている人で
なくても大切なCだと感じますし、教科書に書いてあることをそのまま信じない、ということもある
意味その通りだと思います。因みに、私が昔々学校で「1192(いいくに)つくろう、鎌倉幕府」
と習った年号は「1185(いいはこ)」に今は変わっています。面白いですね。

子ども達の話の中に「みんなそうだから。」ということを知ることがあります。「みんな」が実は、
ふたり 3人だったりということがあります。「みんなが言っているから間違いない。」という
せんにゆうかん も ほか ちが じぶん おも おも
先入観を持たずに、他の人とは違っても自分は「こう思う。」という思
いを持ち、堂々と語れる子どもを育てたいですね。また、たとえ少人数
の意見だとしても自分とは違う一人ひとりの意見や考えを大切にし、
みと ひと げんき こんき き ゆうき
認めていく人になりたいものです。「元気」「根気」「やる気」「勇気」の
4つの気を大切にしようとして始めたこの1年の締めくくりにあたり、
ほんじよせんせい ことば みなさま きょうゆう がんば おも
本庶先生の言葉を皆様と共有してまた頑張りたいと思います。



がっ にち かみいだいしょうがっこう ねんせい きゅうぎたいかい さんか たが けんとう
11月28日、上飯田小学校にて5年生が球技大会に参加。お互いの健闘をたたえて
「礼」。人数では勝てませんが、一生懸命素敵なプレーを見せてくれました。